

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-4-1 子育て環境の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 青少年家庭課子ども・子育て支援室長 河原 賢 電話番号 0852-22-6071

事務事業の名称	乳幼児等の育児支援事業	
目的	(1) 対象	子育て中の保護者とその家庭
	(2) 意図	子育て支援サービスを提供することで、子育てと仕事の両立や子育て不安の解消等を図る
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・育児と就労の両立支援のための多様な保育サービスと地域の子育て家庭への支援を実施する市町村に対して事業に要する経費の一部を補助する。 ・出産、傷病のため長期間休暇を必要とする保育士等の代替職員を雇用する人件費を支援することにより、保育士の離職防止と雇用の継続を図り、保育所における児童の処遇を確保する。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	各事業を実施する市町村の割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		78.00	84.00	89.00	89.00	
式・定義	特別保育実施数/19市町村×100		実績値	73.60	78.90	78.90	78.90		%
			達成率		101.20	93.90	88.70		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00		%	
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	976,721	392,893
うち一般財源(千円)	584,210	390,112

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度実施状況

- ・産休代替等職員・・・対象者：84人（60施設）
- ・特別保育推進事業・・・15市町村で実施
- ・保育緊急確保事業・・・19市町村で実施（地域子育て支援拠点41箇所（17市町村）、一時預かり63箇所（11市町村）、ファミリーサポートセンター10市町村）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

多様な保育サービスの推進を図るとともに、子育て中の保護者の不安解消や家庭と仕事の両立の支援につながった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・入所児童の状況や地域によって、必要な保育サービスはそれぞれ異なる。

②困っている状況が発生している「原因」

小規模な保育所では、国の補助要件を満たすことができず事業が実施できない。

③原因を解消するための「課題」

地域の実情に合わせ、多様な保育サービスを提供できるよう、国の補助事業と県単独事業の効果的な組み合わせにより、市町村の取り組みを支援していく。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・市町村や地域のニーズを踏まえ、地域の子育て支援の充実と着実な事業実施を図る。
- ・きめ細やかな子育て支援が提供できるよう県単独事業の充実、見直しを図る。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）